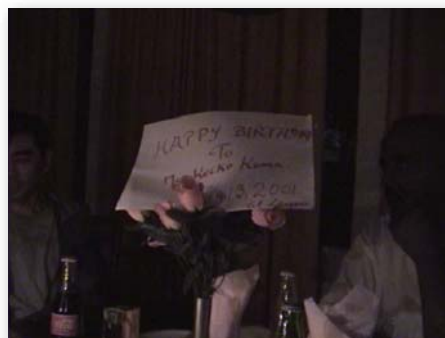


二度とない人生を、今後は世界の為に生きていこうと心に誓いつつ星空を眺めた
5月13日の夜を忘れることはないでしょう。

今こそ力になれる、と並々ならぬ意欲が生まれ、運命を感じたのです。おいしい良いコーヒー豆をそのままおいしいまま日本に伝え、搾取ないビジネスをしていく事でエチオピアの農民が豊かに生きていけるようになるならば、これ程やり甲斐のある事はないと心底感謝しました。農民は人間としての基本である衣食住もままならず、子供が教育を受けられる事はないと聞き、今はどうする事も出来ずいたたまれない気持ちで一杯ですが、いずれの時の為に着実に動いていきたいと心を決めました。私は、この時、コーヒーショップの経営を始めていました。何故始める気になったのか確かな記憶はないのですが、1年前にコーヒーショップをオープンしたのです。この為であったとわかり、本音で生きる事の素晴らしさに喜びました。マホメット氏は、「良い人に会える事をずっと待っていた。皆、搾取する人ばかりで話せる人がいなかった。あなた方は良い人だから頼める」と喜んでいました。満天の夜、日本で見た事がない星が空一杯に降る様に輝く夜。私は、食わず飲まずトイレ行かず、車の中で飛び跳ねる事を必死で押さえる旅の疲れで、思わず夜の撮影中に草むらに寝そべっていました。目の前に広がる星空。その美しさに吸い込まれそうになり、幸せに満ちるひと時。大地からは、これから生まれようとする生命の息吹きを感じ、私は自分の運命をしっかりと感じました。私個人の人生は終わった事を悟りました。

10才の頃芽生えた気持ちは、私の心に火を灯し、消える事がなかったのです。斎藤さんに出会い、過去を整理し、自分を取り戻し、やっと世界の為に生きられる生き方が出来るようになったのです。二度とない人生を、今後は世界の為に生きていこうと心に誓いつつ星空を眺めた5月13日の夜を忘れることはないでしょう。



エチオピアにて コーヒービジネスの依頼

私の誕生日、

NPO 高麗のエチオピア代表となったマホメット氏より、
コーヒービジネスの話がありました。